平成28年度綾瀬川のアユ生態調査報告書

平成２９年３月２８日
埼玉県環境科学国際センター
自然環境担当　金澤　光

１．はじめに

埼玉県内河川では、昭和50年代から稚アユの遡上が見られるようになり、下流域の水質改善とともに天然遡上アユが復活しつつある。

金澤（2005～2014）が平成17年4月から平成22年3月末にかけて本県全域の河川湖池沼を対象に、生息する魚類調査を実施した。さらに、埼玉県における回遊魚の遡上及び陸封に関する実態把握のために、23年4月から25年3月末まで本県に東京湾から遡上する魚類の種類、時期、遡上範囲等の実態を調査した結果から、新河岸川水系の黒目川、柳瀬川で流下仔アユを確認、また綾瀬川、中川に稚アユが遡上している事実がわかった。

その結果を受けて、NPO法人エコロジー夢企画では、平成26年度から綾瀬川における遡上アユの確認作業を行っている。5月17日には、さいたま市岩槻区加倉で遡上稚アユを確認した。また、流下仔アユの存在は、10月25日に八潮市大曽根ビオトープ内で採集した個体から判明している。

平成27年度は6月13日から調査を開始し、さいたま市岩槻区加倉で遡上稚アユを確認した。8月9日には全長11㎝に成長したアユが加倉の大橋井堰下流で確認された。大橋井堰の堰止め時期は5月初旬で、それ以前に遡上した稚アユは上流へと遡上している可能性があり、その個体も確認することが次年度の検討課題である。流下仔アユは10月23日に岩槻区加倉の大橋井堰下流とここから約6km上流の見沼代用水路の瓦葺分水工綾瀬川放流口で1個体の流下仔アユを確認した。放流口よりも上流では確認出来なかった。この仔アユがどのような経路で下流域に流下しているか非常に興味深いところである。

２．目的

綾瀬川におけるアユの遡上実態を市民レベルで確認し、再生産の可能性を追求する。

３．調査項目

①遡上稚アユ及び成育状況の確認調査
②流下仔アユの確認調査
③産卵状況調査

４．調査方法

①遡上稚アユ及び成育状況の確認
調査時期：平成２８年6月４日
　　：平成２８年8月１４日
調査手法：四つ手網及び投網による採捕
調査場所：①さいたま市岩槻区加倉の綾瀬川大橋井堰下流
　　②伊奈町小針小貝戸橋
　　③桶川市五町台の源流

②流下仔アユの確認調査
調査時期：平成２８年１１月２３日、３０日
調査手法：ネットによる仔アユの確認
調査場所：②伊奈町小針小貝戸橋
　　：八潮市大曽根ビオトープ（10月１５日）地図に記載できないので番号はなし

５．調査結果

①遡上稚アユ及び成育状況の確認調査

平成２８年6月４日に四つ手網と投網で稚アユ全長5.5～７㎝を７尾確認した。

平成２８年8月１４日に成育状況調査を岩槻区加倉の大橋井堰より上流の伊奈町で行った。調査場所②で全長１２．５㎝、③で同８㎝のアユを各１尾確認した。

②流下仔アユの確認調査

１１月２３日、11月３０日に仔アユ調査を行ったが仔アユ確認できなかった。10月１５日に大曽根ビオトープで調査を行ったが確認できなかった。

③調査参加者

平成２８年6月４日 三井元子・池野（NPOエコロジー夢企画）、（埼玉新聞岸鐵夫記者）
8月14日 三井元子（NPOエコロジー夢企画）、佐藤正康、井口拓磨、堺かなえ、弘瀬洋太、生沼美夏、（埼玉新聞岸鐵夫記者）
10月15日 三井元子・水越稚子（NPOエコロジー夢企画）、佐藤正康、生沼美夏、深沢真、伊藤克哉、（埼玉新聞岩波里枝記者）
11月23日 三井元子（NPOエコロジー夢企画）、佐藤正康

11月30日 三井元子（NPOエコロジー夢企画）、清水誠幸

綾瀬川の調査地点

６．まとめ

①綾瀬川の岩槻区加倉の大橋井堰下流で天然遡上アユを確認した。

②遡上アユの成育状況は8月に全長１２．５㎝の個体を確認した。綾瀬川の魚類の遡上阻害物は大橋井堰で、堰止め時期は5月初旬であることからそれ以前に遡上した稚アユは上流へと遡上している可能性がある。または、利根川から見沼代用水路を経て綾瀬川に流下した可能性も考えられる。

③流下仔アユは伊奈町では確認できなかった。

７．今後の検討課題

①天然遡上アユの経年遡上を確認する（平成26年、27年、28年確認済み）

②遡上アユの成育と定着場所の究明（伊奈町を対象水域として調査する）

③流下仔アユ調査（綾瀬川本川での産卵と仔アユの流下を確認する。見沼代用水路導水部より上流で）綾瀬川独自で再生産できるのかを引き続き調べる必要がある。

８．その他

①魚類調査結果

平成28年6月4日①さいたま市岩槻区大橋井堰下流（四つ手網・すくい網）

アユ科アユ、コイ科コイ、スゴモロコ、オイカワ、タイリクバラタナゴ、ボラ科ボラ、スズキ科スズキ、ハゼ科ヌマチチブ、マハゼ、ウキゴリ

平成28年8月14日②伊奈町、③桶川市（投網・すくい網）

アユ科アユ、コイ科コイ、ギンブナ、ゲンゴロウブナ、オイカワ、タイリクバラタナゴ、カマツカ、ニゴイ、ツチフキ、ホンモロコ、モツゴ、ボラ科ボラ、ドジョウ科カラドジョウ、メダカ科ミナミメダカ、甲殻類ヌマエビ科カワリヌマエビ属の一種、テナガエビ科スジエビ

平成28年10月15日　大曽根ビオトープ（四つ手網、投網、すくい網、釣り）

コイ科ギンブナ、サンフィッシュ科ブルーギル、カダヤシ科カダヤシ、ハゼ科ヌマチチブ、甲殻類ヌマエビ科カワリヌマエビ属の一種、テナガエビ科テナガエビ、ユビナガスジエビ、モクズガニ科モクズガニ、ベンケイガニ科ベンケイガニ、クロベンケイガニ、軟体動物カワヒバリガイ、爬虫類カメ類ミシシッピアカミミガメ

平成28年10月23日②伊奈町（四つ手網、すくい網）

コイ科タモロコ、ホンモロコ、タイリクバラタナゴ、メダカ科ミナミメダカ、ハゼ科トウヨシノボリ、甲殻類モクズガニ科モクズガニ、テナガエビ科テナガエビ、ヌマエビ科カワリヌマエビ属の一種、貝類タイワンシジミ

平成28年10月30日②伊奈町（四つ手網、すくい網）

コイ科ホンモロコ、タイリクバラタナゴ、メダカ科ミナミメダカ、甲殻類テナガエビ科スジエビ、ヌマエビ科カワリヌマエビ属の一種

参考文献
金澤光（2014）埼玉県に生息する魚類の生息状況について（資料）、14、95-106、埼玉県環境科学国際センター報
金澤光（2016）平成27年度綾瀬川のアユ生態調査報告書

新聞掲載記事

平成28年11月1日付け　埼玉新聞

（第3種郵便物認可）　埼玉

川の生物 食べて調査

ボート乗船、水質も観察

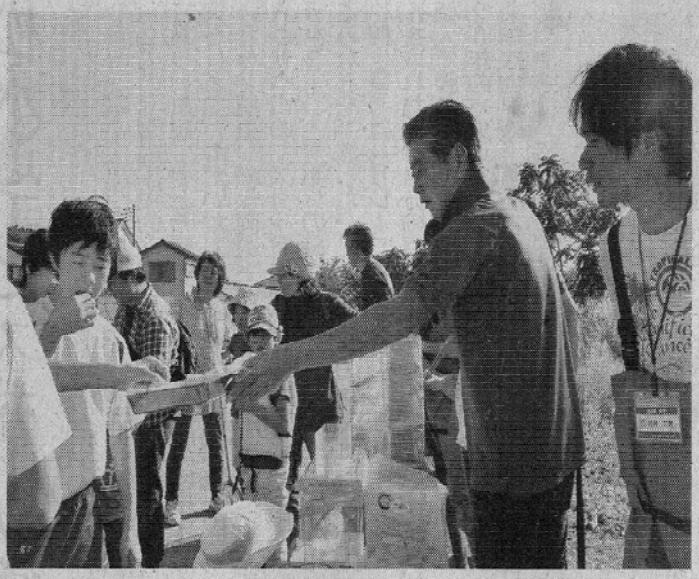
綾瀬川の自然環境に関心をもってもらおうと、東京都足立区のＮＰＯ法人「エコロジー夢企画」（三井元子理事長）は、八潮市大曽根の大曽根ビオトープで、川の生き物や昆虫などを調べるイベント「エコ夢探検隊」を開催し、近隣住民ら約40人が参加した。（岩波里枝）

八潮の大曽根ビオトープ

ガスコンロや油、鍋を用意し、ビオトープで採取した小さなテナガエビを素揚げにして味わった。最初は恐る恐る観察していた参加者も、テナガエビが揚がると、「普通のエビの香りだ」「おいしい」と、次々に口に運んだ。

県環境科学国際センター自然担当主任調査員の金沢光さん（63）は「川の環境を知るには川の水を飲むのが一番良いが、飲んでもらうわけにはいかないので、食べられる生物で環境を感じてもらった」と説明する。

イベントでは、関係者が東京都足立区から八潮市大曽根までこいできたボートに参加者らが乗船し、川の水質を目で見て確かめた。ビオトープでメダカ、カワリヌマエビ、ベンケイガニ、カワヒバリガイなどを採取。子どもたちは夢中になって、網で川の生物や昆虫を捕まえていた。



素揚げしたテナガエビを食べる参加者ら＝八潮市大曽根の大曽根ビオトープ

参加した八潮市の進藤美羽ちゃん（3）は「ボートに乗って楽しかった」とほほ笑む。母親の宏美さん（40）は「子どもたちは目で生物を見てリアルに環境を感じていた」と話していた。

平成28年6月５日付け　埼玉新聞

新聞　2016年（平成28年）6月5日（日曜日）　社会　（14）

アユ遡上 今年も確認

岩槻区の綾瀬川で7匹

さいたま市岩槻区加倉の綾瀬川で、県の専門家とNPOエコロジー夢企画（三井元子理事長、本部・東京都足立区西綾瀬）によるアユの遡上（そじょう）調査が4日、行われた。旧日光御成道の下に架かる大橋井堰（せき）の下流側で、午前9時から四手網による採取を行い、午後3時までにアユ7匹を捕まえた。いずれも5～6センチの稚魚。

ほかにスズキ、ボラ、ヌマチチブ、マハゼ、オイカワなど多彩な魚が採れた。約10種類で計101匹になり、豊かな川の恵みを証明した。今の時期、同堰では約3メートルの高さに水がせき止められ、アユはこれ以上、上流に上れない。

昨年の同時期に、この場所で行った調査では、アユは2匹だった。調査した環境科学国際センター自然環境担当主任専門員の金沢光さん(62)は「昨年に続き」ここまで東京湾からアユの稚魚が遡上していることが確認できた。大きな成果だ」と話した。

NPOの三井さんと池野恵子さんが四手網を操作。2人は「網を上げるたびに収穫があるので楽しい」「自然に囲まれているようで心地よい」と話していた。

（岸鉄夫）

綾瀬川で捕まったアユの稚魚

四手網でアユを採取する三井さん（左）と池野さん＝4日午後、さいたま市岩槻区加倉、綾瀬川の大橋井堰

綾瀬川の遊漁承認証

特
埼玉東部第５種
共同漁業権
28 No 000050
遊漁承認証
平成28年1月1日から
平成28年12月31日迄
優
3000 円
住所
氏名 金澤光 殿
28年 3月 17日生
埼玉東部漁業協同組合
TEL 048 (985) 1095

平成28年度
正甲
北部
埼玉県北部漁業協同組合
漁業鑑札
No. 00159

No. 196
平成28年
埼玉南部漁業
第1種
組合
土合
氏名 金澤
平成28年度
正甲
北部
No. 00159